レッスン：PYR No.85

テーマ：エクササイズと分析/同一体の効果

PYR 85 KE08 No.10 26/23

私の姉妹・兄弟たちよ。

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

　過去において現在のパーソナリティーがLifeのアベニューに入るためにするべき努力について述べました。このレッスンではパーソナリティーが180度回転し、何が上向きで何が下向きかを認識することができるようになるのを助けるエクササイズを行います。しかしそのエクササイズの前に、いくつかの質問に答えましょう。

Q：誰か親しい人が死んだ後、その人のことを考えるとその人とのコネクションが強まり。その人がどこに行こうともその人に影響を与えるようになるでしょうか？

K：過去に述べましたが、死んだ人について考えると、私たちはその人の同一体を創造します…この世界でかつてその人が生きていたその人について私たちが知っていたとおりに。そしてその同一体は､次にそのパーソナリティー、その人によって活性化されます…その同一体が意味するLifeそれ自体のスパークによって。そのパーソナリティーについて私たちが考えれば考える程、その同一体はより強くなります。なぜならば、私たち自身もその実在にエネルギーを送るので、その同一体を築いた人が亡くなった後もその同一体は生き続けることがあります。

　そしてその同一体が意味する人が長い年月の後に転生してくる時が来ます…何年後でも構いませんが。さてその新しく誕生した新しい現在のパーソナリティーは、前回の転生の時の気づきのレベルと共に生まれてきますが、さらに今回の新しい転生における体験のために4分の一の新しいまっさらなページと共にやってきます。しかし、またその人によって築かれた同一のエレメンタルをも携えてやってきます。

　その同一体は記憶だけでなく、それが生み出された時と同じレベルの現れの詳細を全て携えています。その赤ん坊は勿論それを記憶していませんが、それはその過去にとどまることをしないで新しく生まれ直して前進するためです。しかし、それでもその赤ん坊の前回の転生を意味する同一体によって影響を受けます。ですから、その場合影響があり、時には影響があまりに強いので、その赤ん坊は成長していく過程で同じ過ちを犯すかもしれません。

　その場合、人間はその事を知らずに、そのパーソナリティーの邪魔をすることになります。ですから、死んだ人のことを考えるのは、その人について泣くのはしばらくの間だけに留める方が良いでしょう。実際、泣くのは自分のために泣くのです。なぜなら、その人を失ってしまったからです。ですからしばらくは悲しんでも、その後は考えるのを止めてその人を自由にしてあげましょう。

Q：それでは、日常の会話などで、亡くなった人について述べるのはあまり良くないということですね。

K：そうです。実際、亡くなった人は後に残された人よりもずっと良い状態のステートにあるのです。

Q：亡くなった現在のパーソナリティーは、死んだ後、サイコノエティカル界に留まっている間にある程度癒されて、その結果、転生して戻ってくる時には守られて、またいくらか前進していますが、同一体は静止したままなので影響を与えてしまうということになるのですか？

K：もし死んだ後、サイコノエティカル界で気づきを高めることに成功するなら、影響を受けることはありません。しかし通常それは、生きている間により高いレベルの気づきを現し始めた人だけに起こります。それについては前にも述べました：真剣な探究者が多くの関心と興味を寄せ、多くの努力をした場合、その人は死んだ後にもサイコノエティカル界で引き続き努力を続けます。なぜなら、そのパーソナリティーは向こうの世界に移行しても自分自身の世界を築き、引き続き生前いつも好んでいたことを行うからです。死んだ後もそれが継続します。

Page2

Q：しかし、一般的には死んだ人のことを考えると、相手の悪い点よりもどちらかと言えば楽しい懐かしいことを思い出します。

K：そのとおりです、しかし私たちが築いたのはパーソナリティーではなく、その体は私たちによって活性化されるのではありません；それはその同一体が意味する実際のパーソナリティーを活性化したLifeのスパークによって活性化されます。現されるのは私たちの気づきのレベルではありません。

　ですから、そのパーソナリティーはサイコノエティカル界で引き続き自分の好むステートで留まり、変わるということはありません。そして新たな転生においてそのパーソナリティーはその波動が僅かに変わって戻って来ます。それゆえその同一体の気づきのレベルは転生する前のレベルとまったく同じです。ですから今、そのエレメンタルの周波数とのつながりがあり、もしそのエレメンタルが非常に強い場合にはそれが影響を与えます。

Q：エレメンタルが築かれない場合には、次の転生における変化はいずれにしてもほんの僅かということですね。

K：はい、しかしその新しいパーソナリティーは何も覚えていないでしょう。なぜならば、新たなパーソナリティーとして戻って来る時には何も覚えていない、というディバインの贈り物があるからです。しかし同一体のエレメンタルと共にあるそのパーソナリティーは覚えてはいませんが、潜在意識からの影響があります…その同一体のゆえにです。私たちが同一体を築き、それがLifeのスパークによって活性化されると、それは永遠的なものとなり、それは決して消去されることはなくそこにあります。

Q：あなたの愛したパーソナリティーが、あなたがそれについてただ考えたがゆえに苦しむというのはちょっと残酷に思えます。

K：それはあなたがそのパーソナリティーのことをどのように覚えているかによります。その人のことを覚えているべきでないとは言いません。そのパーソナリティーをあなたがどのように覚えているか、それが影響を与えます。

Q：それでは影響を与えるのは何ですか？

K：もしあなたが嘆き悲しみ、その人についていつも嘆き悲しんでいると、あなたは喪失感を感じ、その同一体はあなたからエネルギーを与えられ、そのパーソナリティーのLifeのスパークとつながります。あるいは（＊もし既に転生している場合には）以前に現されていた以前のパーソナリティーのLifeのスパークとつながります。しかし、もし愛の気持と共にその人を思い、その人の新たな良い旅を願うなら、その場合には何の問題もありません。

さて、過去に皆さんは四面ピラミッドの中で180度回転するのを助けるエクササイズを与えられました。目の前の真っ白な光の中に像を見ます。それは現在のパーソナリティーが自己実現に到達するのを待っている高次ノエティカル体を意味します。それは実際にかつてそのパーソナリティーがアダムとイブとしてLifeの本質を完全に現していた間に実際に使用していた体です。今行う努力とは、あなたの意識を自分の肉体からその（＊目の前の）体に、像に転送することです、目の前のピラミッドの純白のサイドにあるその像に。皆さんの中にはこのエクササイズを覚えている方もいるでしょう

　**自分の意識を完全に目の前の高次ノエティカル体に転送したと感じる必要があります。それによって自分の現在のパーソナリティーの言い訳をすることなく、自分の現在のパーソナリティーを観察することができます。実際、その体を使用している時には、そうとは認識しなくても正しい思考を現しているのです。そして、Lifeの本質を完全には現していないという影響を受けることなく、つまり自分の現在のパーソナリティーの無知の結果の影響を受けることなく、自分の現在のパーソナリティーを分析することができるのです。これは非常に重要なエクササイズです。**勿論、回転し、回転している間に四面ピラミッドのいろいろな色の輝きに気づいているというエクササイズもありましたが。

Q：（正面のサイドだけでなく）、他のサイドからの光の色も見るのですか？

K：はい。自分の意識をこの高次ノエティカル体に転送します。そして自分の肉体の背後にはガブリエルが管轄しているホワイトブルーの光のサイドがあり、もしそのドアーが開けば現在のパーソナリティーはLifeのアベニューへと導かれるのです。

Page3

　そしてそのポジションから（＊高次ノエティカル体から）見て右側にはウルトラバイオレットの輝きがあり、左手には赤の輝きがあり、あなた自身は白の輝きの中にいます。そしてあなたの前には肉体の向こう側にホワイトブルーの輝きがあります。

　さて、初めは四面ピラミッドの底面の中央に立って、純白のサイドに面して、その純白のサイドの中にはそれよりもさらに真っ白に輝いている体があり、それが現在のパーソナリティーが来るのを待っています；それは高次ノエティカル体であり、それは勿論天人の体と同一です。あなたは初めはそれを単なる体、像と見るでしょう。**そして自分の意識をその体の中に転送するのです。**

レッスンPYR 85 エクササイズ　No.1

　目を閉じて静かに座り…心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分を見て、自分の形の境界を感じます…

　四面ピラミッドの底面の中央で､白いサイドに向かって立っている自分を見ます…正面の白いサイドの中に一つの像、体が見えます、それは高次ノエティカル体であり、それは将来あなたが自己実現した時に使う体です…それはあなたの目の前にあり、とても美しいです…それは天人の体と同一です…

　あなたは、この体を使えるようになりたいと願います…そしてそう願った結果、自分の意識がその体に向かって動くのを感じます、その動きを感じます…それを感じます…どんどん近づいていきます…もう一歩先にいきます…すぐそばまで来たので､もう一歩前に出ればその体の中に入ります…この位置で､右に180度回転し、そして一歩後ろに下がります…今あなたはその体の中に入りました…今あなたは底面の真ん中に立っている自分の肉体と向かい合っていて、肉体の向こうにはガブリエルが管轄しているホワイトブルーの色のサイドがあり…右手にはウルトラバイオレットの輝きが、そして左には赤の輝きがあります…

　今、その位置から、目の前にある肉体を使用しているあなたの現在のパーソナリティーを観察します…変わるためには実際何が必要なのかを理解することができるようになるために、観察します…変わるとはいつも同じことを繰り返さないで、現在のパーソナリティーがもっとLifeそれ自体からより多くを現すようになるのを助けることを意味します…この位置から徐々に全てがより明晰に見えてきます、より高いレベルの気づきを現し、Lifeそれ自体からより多くを現すためには何が必要であるかを…

　徐々に、あなたの努力の結果としてLifeそれ自体もっと多くを現すことができるようになることを願います…あなたの現在のパーソナリティー全体の良い健康を願います。終わります。

K：あなたの目の前にある光の体のどのような細かい部分をも見ようとはしません。細部を見ることは重要ではありません。それは光の体であり、光はあまりに強烈なので細部を見ることはできません。

Q：それは私たち自身のイメージと同一ですか？

K：違います。なぜなら、私たちのイメージ、特徴は私たちが経るべき体験と類似しており、また過去に経験した他の体験の結果です。その光の体は私たちのいかなる体験とも関係していません、それはLifeの体であり、それはLifeの本質を完全に現している時のLifeの体です。唯一の違いは、高次ノエティカル体は同調の能力を提供しますが、ノエティック体は同化の能力を提供します。それが唯一の違いですが、その質、クオリティーはまったく同じであり、ノエティック体であろうと高次ノエティカル体であろうとどちらもスーパーサブスタンスの体です。

　ですから、これが皆さんがこのエクササイズを与えられた理由です；これが四面ピラミッド又は他のピラミッドの中でのエクササイズを与えられる理由です…Lifeそれ自体からもっと多くを現すためです。しかし同時にあなたの右側に180度回転するためです。なぜ右方向に180度回転するのでしょうか？なぜなら、それはすべての天体が従っている動きだからです、それは現在のパーソナリティーを何であれ肯定的なものへと同調させる法則だからです。

Page4

PYR 85 No.2

　目を閉じて静かに座ります…心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分を見て、自分の形の境界を感じます…

　あなたはある場所に立っていますが、自分の周囲にはまったく注意を向けません、それはどこでも構いません、戸外あるいは部屋の中かもしれません…あなたはそこで立っています…あなたはとても静かで穏やかな状態です…今、あなたの1メートル前方に自分自身の同一体が立っているのを見ます…それはまったくあなた自身と同じです…それは3次元のあなた自身であり、まるで鏡の中の自分を見ているかのようです…

　あなたはこの同一体があなた自身であるのにそれを認識していないのか、またはそれはイリュージョンであるのかを知りたいと感じます…自分自身へのその問いかけの結果として、あなたの意識が1メートル先にある同一体の方へ移動するのを感じます…あなたはその動きを感じます…その同一体の前に到達し、いつの間にか右側に180度回転して､後ろに下がり、自動的にそれまで自分の前にあったその同一体の中でその体を使っています…そしてそこから自分の肉体を見ています…

　2つの体はまったく同じです…今あなたがその中にいる体と、それまで使っていた体はまったく同じです…唯一の違いは、前とは反対の位置から目の前にあるものを見ていることです、しかしあなたは自分自身です…

　あなたはこれを続けます…この体に入った時と全く同じようにして自分の肉体に入ります…前に進んでから、180度右に回転し､後ろに下がると肉体に戻ります…再び、前に進んで同じように右に回転して、後ろに下がって同一体に入ります…これを3回または4回ぐらい繰り返します…その後で自分の現在のパーソナリティー全体の良い健康を願います。終わります。

このエクササイズに関して何か質問がありますか？

Q：一つの体から別の体に入る時はいつも右に回転するのですか？

K：常に右に回転します。

Q：いつでも自分がいる場所で行うことができますか、それとも場所を見つけてするのですか？

K：どこにいてもできます。自分が立っていると想像します、外でもできますが周囲には注意を向けません…ただ目の前にある自分の同一体にフォーカスします；回りにあるものは全く邪魔にはならず、ただ目の前にある同一体にフォーカス；つまり目の前にいる自分のパーソナリティーにフォーカスします。

Q：その同一体にはどのような質があるのですが？

K：その質、クオリティーはあなた自身、現在のパーソナリティーを現しているあなた自身の質です。これはエクササイズであり、あなたが自分の意識を移動させることができるようになるためのエクササイズです。さて、意識と言う時、実際にはあなたは何を移動させているのでしょうか？…このエクササイズであれ、その前のエクササイズであれ。それは実際にはサイコノエティカル体であり、Lifeのスパークでも肉体でもありません。

Q：しかし、意識の中心はサイコノエティカル体ではありません。意識の中心は何処にでもあります。そうではないでしょうか？

K：説明しましょう。永遠のアトムはLifeのスパークを運ぶ高次ノエティカル体の中です。しかし､勿論その中にはサイコノエティカル体の能力があります。しかし私たちが現在のパーソナリティー（それは実際サイコノエティカル体なのですが）を分析することができるためには（最後のエクササイズではなく、最初のエクササイズについて述べていますが）、実際のサイコノエティカル体は肉体の中に留まっていますが、しかしサイコノエティカル体には能力のある永遠のアトムがあるので、それもまたサイコノエティカル体を意味します。ですから現在のパーソナリティーはそこにあって、目の前にいる現在のパーソナリティーを分析することが出来るのです。理解するのはそう簡単ではありませんが、しかしそれはLifeの多重性です。

Page5

Q：サイコノエティカル体は自己実現の時に、永遠のアトムと同一になると思っていました。

K：その通りです。しかし、完全に再形成されていないサイコノエティカル体が高次ノエティカル体を使用出来ると思いますか？できません。ですからその体は実際には肉体の中に留まり、現在のパーソナリティーが気づきを高めるためにワークをする時には、Lifeが現在のパーソナリティーに永遠のアトムを使うチャンスを与えるのです…自動的に正しい思考を現す、完全に再形成されたサイコノエティカル体と同一になり、現在のパーソナリティーを離れた所から分析することができるように。あたかも現在のパーソナリティーが無知のステートにいないかのように。

Q：私は自己実現した現在のパーソナリティーが、そうするように助けてくれる時のみ可能だと思っていました。自分ではできないと思っていたのです。

K：Lifeはあなたを助けています、Lifeはチャンスを与えています。勿論、もしあなたがLifeからチャンスを与えられたら、それはLifeが毎日の生活においてそうなるようにあなたを助けていることを意味します。現在のパーソナリティーがこの助けをどれだけ受け入れるかは別問題ですが。結局、私たちの内側には神がいるのです。

　2番目のエクササイズの目的は、その結果、現在のパーソナリティーが永遠のアトムと共に自分の意識を移動させることができるようになることです；この場合にはそれは基本であり、その結果として最初のエクササイズが可能となるようにあるためです。しかし、そこには違いがあります。そこでは私たちは永遠のアトムをサイコノエティカル体から分離させません；実際、サイコノエティカル体が移動しているのです。残された体には何が起きるのでしょうか？ここでも、それが存在するためにLifeがその体を活性化しているのです。現在のパーソナリティーのLifeのスパークのいくらかがそこに残るか否かは､重要ではありません。自分の同一体を目の前に見ている時、それはまだ活性化されています。意識を目の前にある同一体に移動させる瞬間、自分の体としてそれまで使っていたものは自動的に今度は同一体になるのです。

Q：しかし、それでは同一体ともう一つとの間に違いがないのですか？

K：最初に見た同一体であれ、意識を転送した時に同一体となったものであれ、それは問題ではありません。オリジナルと同一体は実際に一つです。ある瞬間はそれで、意識を転送した時はもう一つの同一体となります。ですから、最初のエクササイズと次のエクササイズには大きな違いがあります。

Q：それでは2番目のエクササイズにはお互いへの影響はないのですね。

K：勿論、ありません。目的が違います。明確にしましょう。最初のエクササイズでは永遠のアトムが私たちが創造した同一体の中に入り、現在のパーソナリティーの中にあるサイコノエティカル体を観察します…現在のパーソナリティーを分析するためにです（人生においてどのようにアプローチしているか、特に同胞の人間達にたいして。また他人の言動その他から自分がどのように影響を受けているか､その他）。そうです、このポジションから見ると、毎日の生活において自分がどのような行動を取っているか、どのように機能しているかがわかります。レッスンの中で知識として学んだことを実行しているか否かなど。

Q：2つの小さなエゴに関するエクササイズとは非常に異なりますね。

K：次のように言いましょう。このエクササイズをする時、このエクササイズの目的とはパーソナリティーの正しい思考です。しかし、正しい思考を現すとは、そのパーソナリティーが4番目のサイクルを終了するときで、その時初めて人間は正しい思考を現していると言うことができるのです。

　ですから、現在のパーソナリティーが思考を現す時には何を現していますか？二元性が必要であり、それ故に2つの小さなエゴがあります。自己実現の時には、小さなエゴとより大きなエゴの2つが一つになり、そして以前にそれを活性化させたスパークの中に入ります。

Page6

　ですから高次ノエティカル体の中には永遠のアトムがあり、その永遠のアトムはサイコノエティカル体の能力を持ち、そのサイコノエティカル体は分析する能力があり、そのために二元性があります。２つの小さなエゴが必要で、それゆえにこれら２つのエゴはサイコノエティカル体と共にそこに留まるのです。

さて高次ノエティカル体はまた現在のパーソナリティーにも使用されます；しかし正しい思考を持つために二元性が現されるのでしょうか。

　４番目のサイクルでは２つの小さなエゴはお互いの中に吸収され、もはや二元性を現すことはありません。しかし、正しい考えという質の思考を現すためには、二元性が必要ですが、その二元性は正しい思考のそれです。

　二元性の発達について学んだ時に、以下のことに注目しました。最初、二元性はアダム＆イブにおける可能性でした。パーソナリティーが初めて現在のパーソナリティーとして現れた時、それは全くの無知の状態であり、二元性も現れていませんでした。それらのエゴは一つになっていたからです。その後、経験の結果として２つの小さなエゴとなり、徐々に罪悪感の結果として現在のパーソナリティーにワークする結果として、より小さなエゴはより大きなエゴの中に吸収され、その結果として、自己実現したパーソナリティーが転生のサイクルに留まり、高次ノエティカル体を使用しているステートにおいて、正しい思考が表現されるようになります。

　転生のサイクルに留まる自己実現した現在のパーソナリティー、それはサイコノエティカル体を使用し、それによって思考と二元性を現しますが、しかしこの場合２つの小さなエゴは同じで、小さい・大きいという区別はなく、従って二元性も一つになっています。それゆえその瞬間からLifeの能力となり、それ以降は周囲の人々を助けるために必要な時には二元性を現します。**それは自動的に行われ；行動の前に思考が先行することはありません。**

　そのパーソナリティーはノエティカル体のゆえに思考を使います、そしてサイキカル体のゆえに感情を現します；そしてサイキカル体とノエティカル体が完全に再形成されているので、思考の現れは最も高い状態にあり、感情も同じです。この波動の現れ（＊実存の諸世界）においては、最も高い思考、感情の現れとなります。実際、その時から先は二元性、思考を現す時もそれはLifeの能力となり、小さな＆大きなエゴというものはありません。そのパーソナリティーは一つとなり、Lifeの能力を持ち、２つの小さなエゴは必要としません。

　このレッスンにおけるエクササイズは、この能力を自己実現していない現在のパーソナリティーに与えます…気づきを高めるために努力し、Lifeそれ自体から徐々により多くを現そうとしている現在のパーソナリティーが、180度回転するための助けとなるために。

　このエクササイズはそのパーソナリティーの思考、行動を観察し、そのポジションから正確に気づきのレベルを分析します。それゆえにこのエクササイズは非常に重要なのです。しかし、それが真の価値をもたらすためには多くの努力が必要です。なぜなら、そのパーソナリティーはLifeそれ自体からの助けを求めることができるようになる必要があるからです。なぜなら、Lifeからの助けなしでは、それを達成することはできないからです。

EREVNA/PYR 85 KE08/L10 26/03